

阿南中央図書館(仮称)建設工事設計業務 公募型プロポーザル 審査結果報告書

1. 審査結果

- (1) 最優秀提案者
株式会社 東畑建築事務所 本社オフィス大阪
- (2) 次点者
株式会社 石本建築事務所 大阪オフィス

2. 阿南中央図書館(仮称)建設に係る設計業務受託者検討委員会

- (1) 組織

委員長	中井 孝幸	愛知工業大学	教授
委員	近藤 光男	徳島大学	名誉教授
委員	多田 豊	愛媛大学大学院	准教授
委員	幸泉 賢一郎	阿南市企画部	部長
委員	荒井 啓之	阿南市総務部	部長

(2) 検討委員会の開催

- ・第1回 阿南中央図書館(仮称)建設に係る設計業務受託者検討委員会
日時：令和7年6月21日(土) 午後1時30分から午後4時10分
場所：阿南市立那賀川図書館 視聴覚室
議事：第1次審査(書類審査)
- ・第2回 阿南中央図書館(仮称)建設に係る設計業務受託者検討委員会
日時：令和7年7月31日(木) 午前9時から午後5時30分
場所：阿南市役所 303会議室、203 会議室
議事：プレゼンテーション及びヒアリング、第2次審査

3. プロポーザル実施経過

項目	日程
募集公告	令和7年5月19日(月)
質問受付	令和7年5月20日(火)から5月28日(水)まで
質問回答	令和7年6月4日(水)
参加申込書及び第1次審査書類提出期間	令和7年5月20日(火)から6月12日(木)まで
第1次審査(書類審査)	令和7年6月21日(土)
第1次審査結果通知	令和7年6月26日(木)
第2次審査書類提出期間	令和7年6月28日(土)から7月18日(金)まで
第2次審査(プレゼンテーション・ヒアリング)	令和7年7月31日(木)
第2次審査結果通知	令和7年8月7日(木)

4. 審査結果

本プロポーザルにおける審査では、より公正な審査を行うため、事業者名等を伏せた状態で審査を実施しました。

(1) 第1次審査

① 参加資格審査

参加申込のあった5者について、実施要領に規定した参加資格及び参加条件を満たす者であるかどうか審査した結果、全者の参加資格が認められました。

② 第1次審査

第1次審査では、「業務実績」、「業務遂行能力」、「業務実施方針」の3つの評価項目について、評価を行いました。

「業務実績」では、提案事業者と管理技術者の図書館業務の実績を評価しました。

「業務遂行能力」については、本業務に従事する技術職員数及び有資格者数、配置技術者の実務経験と図書館業務の実績について評価しました。

「業務実施方針」については、提案事業者より提出された「業務実施方針書」の内容から、業務の実施フローや工程計画の妥当性、業務実施のための組織体制、建設予定地等の与条件を踏まえた配慮や積極性を評価しました。

審査の結果、第1次審査に参加した5者全てを第2次審査対象者に選定しました。

(2) 第2次審査

第2次審査では「(課題1)図書館整備に関する基本コンセプト」として、「阿南中央図書館(仮称)整備計画を実現するための基本コンセプトについて」、「(課題2)建築計画に関する提案」として、「現時点で想定している建築物に関する配置案、諸室の配置・構成案、空間形成案について」、「(課題3)施設整備に関する提案」として、「現時点で想定している施設整備における工法案、ZEB-Readyを念頭にした設備計画案及び将来における適切な維持管理手法やコストについて」、「(課題4)まちづくり等に関する提案」として、「まちづくりとの連携及び、複合機能について」の各課題に対する技術提案書の内容を評価しました。評価にあたり、各提案事業者のプレゼンテーションを20分以内、検討委員による質疑応答形式でのヒアリングを20分程度行いました。

この第2次審査の得点により、本業務に最も適した事業者の選定を行いました。審査結果は下表のとおりです。

	委員の評価点合計	順位に基づく点数の合計	順位
株東畑建築事務所	375点	23点	1位
A12	310点	11点	4位
株石本建築事務所	371点	21点	2位
A14	343点	15点	3位
A15	305点	7点	5位

5. 審査講評

本件プロポーザルは、令和5年度に策定した「阿南市立新図書館基本計画」及び令和6年度に策定した「阿南中央図書館(仮称)整備計画」により、新たな図書館を整備するにあたり、設計者の技術力、提案力等を審査し、設計業務に最も適した設計者を選考するため実施しました。

建設予定地である旧市民会館跡地は、市域のほぼ中央に位置していることから、新しくできる図書館は市の中央図書館として市内の図書サービスネットワークの中心としての役割が期待されています。さらに新図書館は、市民ワークショップやアンケートでニーズの高かった交流機能や子育て支援機能等の複合機能を一体的に整備することにより、誰もが気軽に立ち寄り、思い思いに豊かな時間を過ごすことができる居心地の良い空間を提供するとともに、人々の出会いを創出する交流の拠点となることを目指しています。

また、効率的な図書館運営を可能とする施設設計とするだけでなく、昨今の物価高騰や経済情勢の急激な変化を踏まえ、整備コストや施設完成後のランニングコストについても、設計段階から十分な検討を行うことが必要です。さらに脱炭素社会の実現に向けて、ZEB-Ready認証を実現する環境面への配慮や、将来的な市民ニーズ、情報通信技術の進歩に対応で

きる可変性も求められます。具体的な検討を進めるにあたっては、利用者のニーズや現場で働く図書館職員の意見を的確に把握し、技術的・専門的な視点により、設計に反映させていくことが設計者には求められます。

今回のプロポーザルでは、このような様々な要求に応えられる技術力と柔軟性を有し、阿南市の新しい図書館にふさわしい提案ができる設計者であるかを審査しました。

プロポーザルに参加いただいた5者は、それぞれが多くの実績を有する事業者であり、阿南市が策定した「阿南市立新図書館基本計画」や「阿南中央図書館(仮称)整備計画」、阿南駅周辺のまちづくりなどの課題を的確に捉え、独創性のある魅力的な提案を示してくれました。

最優秀提案者(A11)の提案は、1階に児童開架と複合施設である地域交流センターを配し、児童開架と地域交流センターはゆるやかにつながっており、お互いの活動を見通すことができる空間になっています。2階の一般開架は、音のシミュレーションを実施し、ティーンズコーナーなどの賑やかなエリアと、自習席などの静かなエリアのゾーニングを行っています。また徹底的な合理化により建設コストを削減することや、ランニングコストを低減する20の省エネシステムの提案が評価されました。庇やバルコニーを取り入れたデザインにより、外装材の汚れを防止し、点検やガラス清掃、シーリング打ち換え時の安全な足場として、維持管理費の削減にも寄与しています。課題となっている周辺の治水対策については、外構の透水性舗装や、時間差をつけて排水を行う雨水流出抑制槽を設置するという提案がありました。また図書館への浸水を防ぎ、利用者と蔵書を水害から守るために、1階の床レベルを1.2mかさ上げし、防水板を設置するという提案がありました。

一方、図書館部分の1階と2階の上下のつながり、書架配置と視認性の確保、1階部分と広場とのつながりなどに再検討が必要との意見がありました。しかし、全体的には、図書館と、隣接するひまわり会館2つの建物を「ANANひろば」でつなぎ、一体的に整備することで、夕暮れ市場や阿南の夏祭りなど、様々なイベントでの利用を企画するなど、まちづくりを意識した提案も評価されました。

次点者(A13)の提案は、1階部分をピロティ駐車場と複合施設である地域交流センター部分とし、エントランス、フリースペース、カフェスペースを配置しています。2階部分に一般開架、児童開架などの主たる図書館機能を集め、2階の書架の周りに人が回遊できる通路を設け、その周りに機能ごとに区切った小部屋を配置して様々な活動を誘発できるなど、たいへんユニークな平面構造でした。課題となっている治水対策への提案は、雨水貯留槽として既存の旧市民会館躯体を活用する計画でした。

一方、利用者、図書館職員、資料それぞれの館内における動線の想定について、図書館部分の音のゾーニングや1階と広場とのつながりについて、疑問が残るとの評価がありました。

A12の提案は、道路に面する広場から図書館に向かって、美しい外観を演出した提案であり、図書館はコンパクトにまとめられていました。

一方、地域交流センター(複合機能部分)の内容が十分でないこと、開架部分が3層に分かれているのに図書館職員の縦動線が利用者と共用のエレベーターとしていることから、迅速なサービス提供に課題があるとの意見がありました。

A14の提案は、1階部分を0.6mかさ上げし、東側に大きく設けた広場を含め、様々な市民活動や人の動線を立体的な空間の構成でつなげ、回遊性、出会う交流、それぞれの居場所へと誘う独創性のある提案でした。

一方、エントランス部分と吹き抜け部分、階段につながる部分のセキュリティラインがわかりにくいこと、音のゾーニングに課題があるとの意見がありました。

A15の提案は、建設予定地における建物の配置に独創性があり、開放的なスペースを前面に配した建物を置いて、隣接するひまわり会館とダイナミックにつなぎ、まちとひとのつながりの実現に向けて工夫を凝らした提案でした。

一方、図書館における音のゾーニングへの問題、切妻となっている屋根の谷部分について、雨に対する不安が残るとの意見がありました。

審査におきましては、5者の提案それぞれに独創性や優れた点があり、なかでも最優秀提案者と次点者の評価がきつ抗していましたが、委員会で十分な議論を重ね、厳正な審査を行いました。

参加いただきました皆様におかれましては、各種提案書の作成やプレゼンテーション、ヒアリング等の対応に真摯に取り組んでいただきましたこと、心より感謝申し上げます。

今後、「阿南中央図書館(仮称)整備計画」で示された魅力的な図書館が、整備されることを祈念いたします。

阿南中央図書館(仮称)建設に係る設計業務受託者検討委員会
委員長 中井 孝幸